

## 通貨選択型 米国リート・αクワトロ(毎月分配型) 第1期分配金は200円(1万口当たり、税引前)

2015年8月17日

平素は、『通貨選択型 米国リート・αクワトロ(毎月分配型)』をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、2015年8月17日に第1期計算期末を迎え、インカム性収益および基準価額の水準などを総合的に勘案し、当期の収益分配金につきまして、200円(1万口当たり、税引前)と致しましたことをご報告申し上げます。

なお、当ファンドの配分方針は以下のとおりとなっています。

- ①分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とします。
- ②当初設定から1年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、毎決算時に分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

※分配金額は、決算の都度、収益配分方針に基づいて委託会社(大和投資信託)が決定しますので、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金額の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

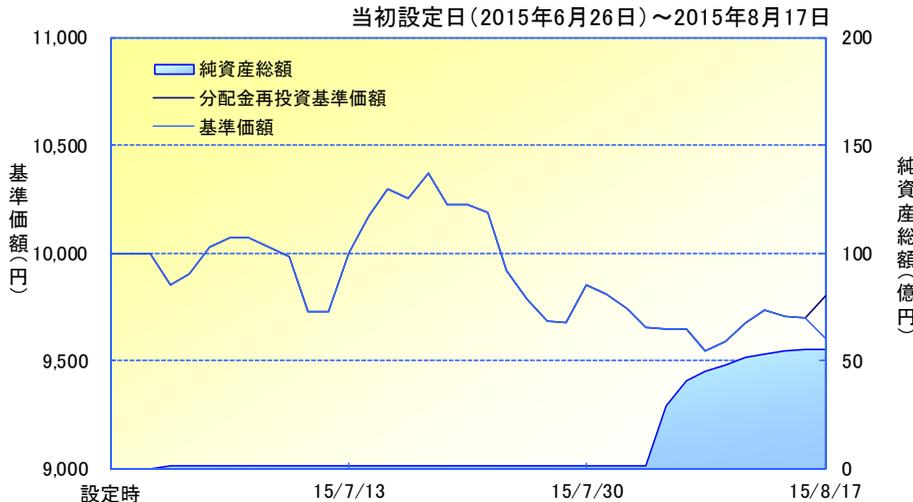
### 《基準価額・純資産・分配の推移》

2015年8月17日現在

基準価額	9,602円
純資産総額	55億円

#### 《分配の推移》(1万口当たり、税引前)

決算期	(年/月/日)	分配金
第1期	(15/8/17)	200円
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
分配金合計額	設定来：200円	



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※分配金額は、決算の都度、収益配分方針に基づいて委託会社(大和投資信託)が決定しますので、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金額の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

#### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡す「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益配分方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

## 《インカム性収益について》

	配当利回り	
米国リートETF	3.7%	
	オプションプレミアム	カバー率
リート・カバードコール	8.4%	50.0%
通貨オプションカバードコール	6.8%	50.0%

※データは2015年7月末時点。

※配当利回りは、課税前の数値を年率換算し算出しています。

※カバー率は、原資産評価額に対するオプションの想定元本額の比率です。

※オプションプレミアムは、カバードコール戦略構築時において決定したプ

レミアムを年率換算したものを表示しています。

(出所)ブルームバーグ、クレディ・スイス

＜ご参考＞	NDFインプライド金利
為替取引	13.0%

※為替取引とは米ドル売り/ブラジル・レアル買いの為替取引を指します。

※NDFインプライド金利は、当ファンドにおける7月中の主なNDF取引につい

て、その約定レートとその時点の市場データをもとに算出した概算値です。

NDF取引については5ページをご参照ください。

(出所)ブルームバーグ、クレディ・スイス

## 《ファンドマネージャーのコメント》

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

※クレディ・スイスのコメントを基に大和投資信託が作成したものです。

### 【投資環境】

#### ＜米国不動産ETF市況＞

当該期間のiシェアーズ米国不動産ETFは、米ドル・ベースで3.8%上昇しました。商業施設や産業施設のリートなどが指数を牽引しました。ギリシャをめぐる不透明感が後退したことから、市場センチメントが好転しリート価格が上昇しました。また、FRB(米国連邦準備制度理事会)による政策金利の引き上げが先延ばしになるという観測が広がったこともリート価格にプラスの影響をもたらし、8月に入っても堅調な推移を続けています。

#### ＜ブラジル・レアル/円 通貨市況＞

当該期間のブラジル・レアルの対円レートは-9.8%の下落となりました。5月の産業活動には持ち直しが見られましたが、労働市場の悪化を示す経済指標などを受けて下落しました。ブラジル政府は今年の基礎的財政収支の黒字目標をGDP(国内総生産)対比で1.1%から0.15%へと引き下げ、これを受けて格付会社S&Pがブラジルのソブリン格付け見通しを「安定的」から「ネガティブ」へと引き下げたことも、レアルの下落幅を広げました。8月に入っても消費者物価指数の上昇率が市場予想を上回ったことなどが嫌気され軟調に推移しています。

#### ＜米国不動産ETFオプション市況＞

当該期間のiシェアーズ米国不動産ETFの1カ月ボラティリティは、ETF価格が上昇する中、低下しました。8月に入ってから、やや上昇して推移しています。

#### ＜ブラジル・レアル/円 通貨オプション市況＞

当該期間のブラジル・レアルの対円レート1カ月ボラティリティは、レアルの対円レートが不安定な推移をみせる中、高い水準で推移しました。7月に一時的に20%を越える水準まで上昇した後、いったん低下しましたが、8月に入ってから足元では19%近くまで上昇する動きを見せています。

※当該期間とは、設定時の基準価額が参照している6月26日から、8月12日の基準価額が参照している8月11日までを指します。

### 【運用状況】

設定から8月12日までの期間、当ファンドは-2.7%の下落となりました。

ETFの上昇や米ドル売り/ブラジル・レアル買いの為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)はプラスに寄与しましたが、レアルの対円での下落(円高)はマイナスに寄与しました。オプション取引戦略については、ETFにかかるコールオプションはマイナスに、円に対するレアルのコールオプションはプラスに寄与しました。

### 【今後の見通しと方針】

米国リート市場は、FRBによる利上げ開始への警戒感が上値を抑える要因となる一方で、利上げペースは緩やかになるとみられており、短中期的には堅調に推移すると予想しています。また、米国主要リートの業績は米国主要企業の業績に比べ相対的に堅調な内容になるとみられており、リート価格にプラスの影響をもたらすと考えています。

以上

## 収益分配金に関する留意事項

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

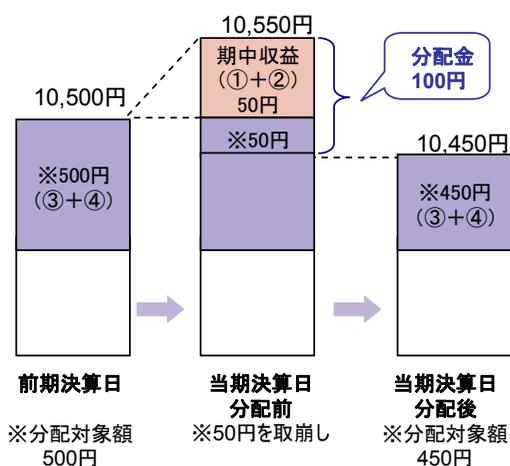
投資信託で分配金が支払われるイメージ



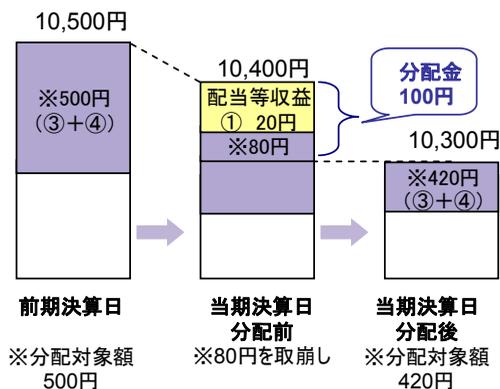
- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

#### 前期決算日から基準価額が上昇した場合



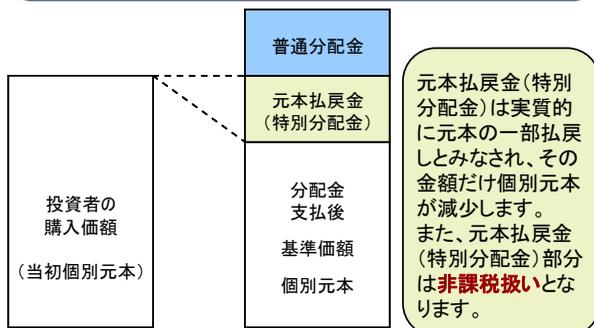
#### 前期決算日から基準価額が下落した場合



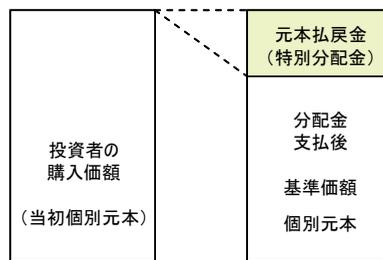
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。

#### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



#### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



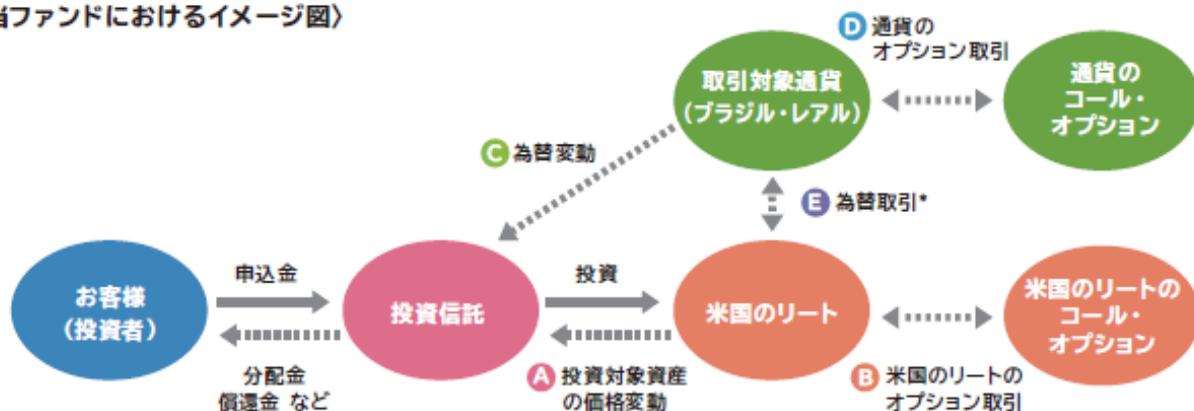
普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。  
元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金)額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

## 通貨選択型ファンドの収益のイメージ

- 通貨選択型の投資信託は、株式や債券などといった投資対象資産に加えて、為替取引の対象となる円以外の通貨も選択することができるよう設計された投資信託です。
- 当ファンドでは、米国のリートに投資するとともに、為替取引およびオプション取引を行いません。

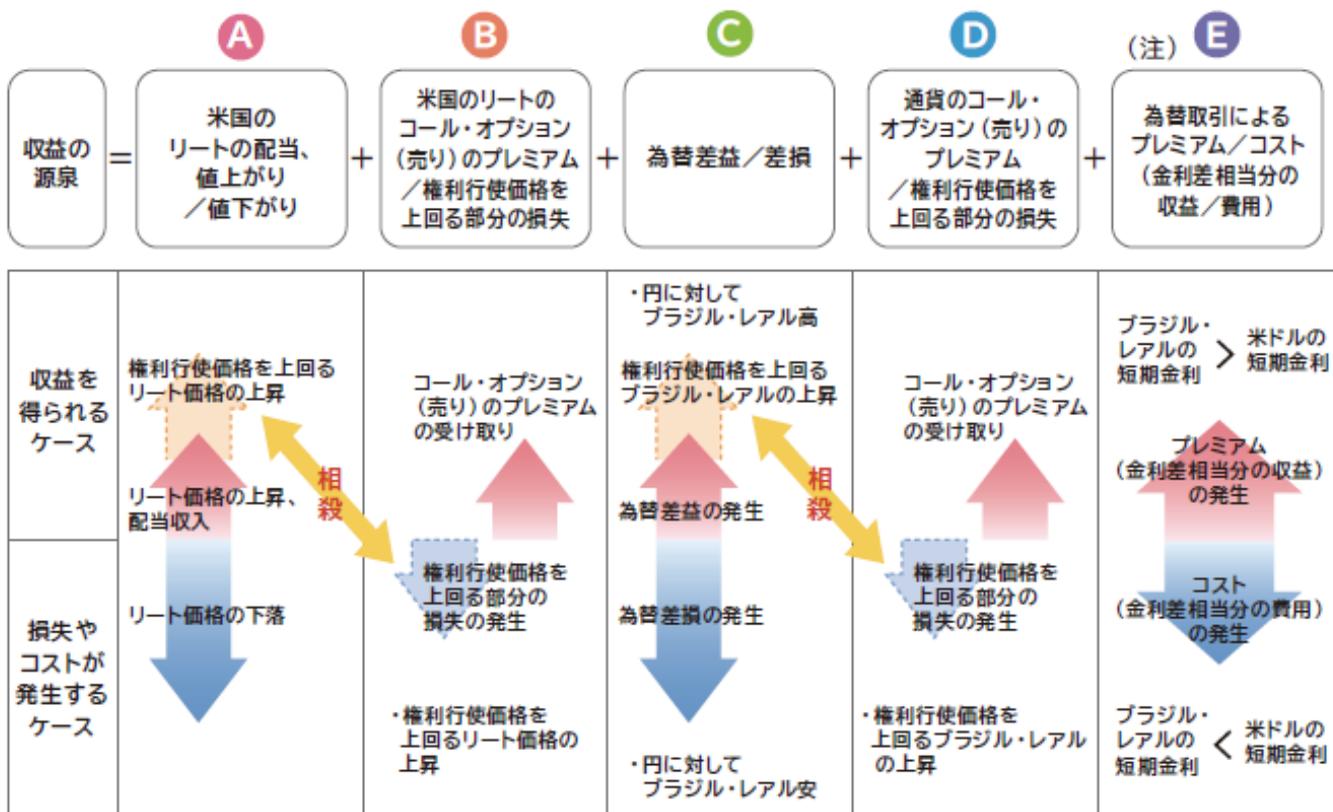
〈当ファンドにおけるイメージ図〉



\* ブラジル・リアルの対円での為替リスクが発生することに留意が必要です。

- 当ファンドの収益源としては、以下の5つの要素が挙げられます。

これらの収益源に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。



(注) 為替取引を行なう際にNDF取引を利用することがあります。

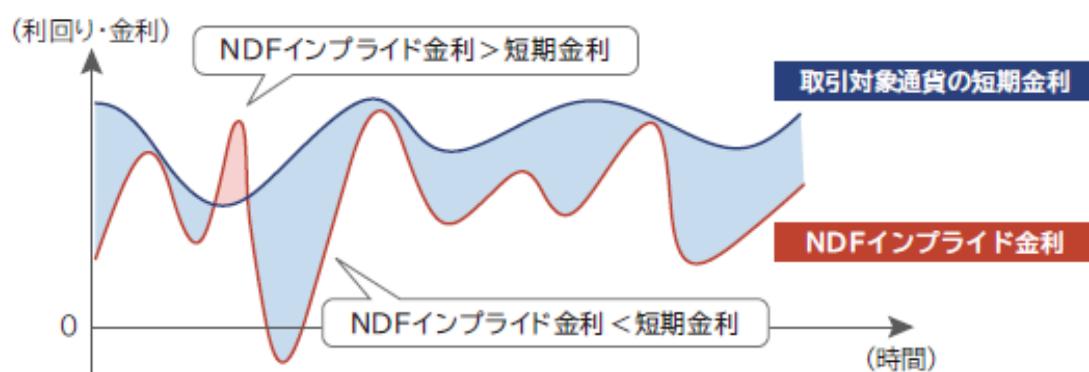
NDF取引を用いて為替取引を行なう際に、プレミアム／コストは、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※上記はイメージであり、実際の投資成果を示唆、保証するものではありません。

## NDF取引とは

- ◆取引対象通貨を用いた受け渡しは行なわず、米ドル等の主要通貨による差金決済を相対で行なう取引です。
- ◆NDF取引価格から算出される“NDFインプライド金利”は、市場の流動性が低く、割高や割安を是正する動き（裁定）が働きにくいことから、市場参加者の期待や需給などの要因により、取引対象通貨の短期金利の水準から大きく乖離する場合があります。

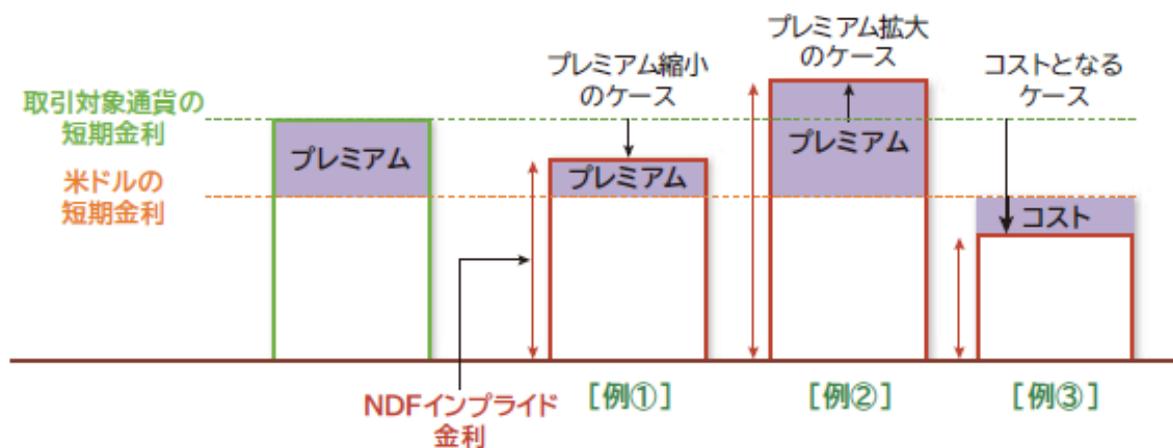
NDFインプライド金利と取引対象通貨の短期金利が乖離するイメージ



※上記はイメージであり、当ファンドのパフォーマンスとは異なります。

### NDFインプライド金利の変動の影響

- ◆市場参加者の通貨上昇（下落）期待や需給などにより、NDFインプライド金利は低く（高く）なる可能性があります。NDFインプライド金利が取引対象通貨の短期金利より低く（高く）なると、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）が縮小【例①】（拡大【例②】）し、場合によっては為替取引によるコスト（金利差相当分の費用）となるケース【例③】もあります。



※上記はイメージであり、実際のプレミアム／コストとは異なります。  
 ※上記は投資成果を示唆、保証するものではありません。

## 通貨選択型 米国リート・αクワトロ(毎月分配型)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

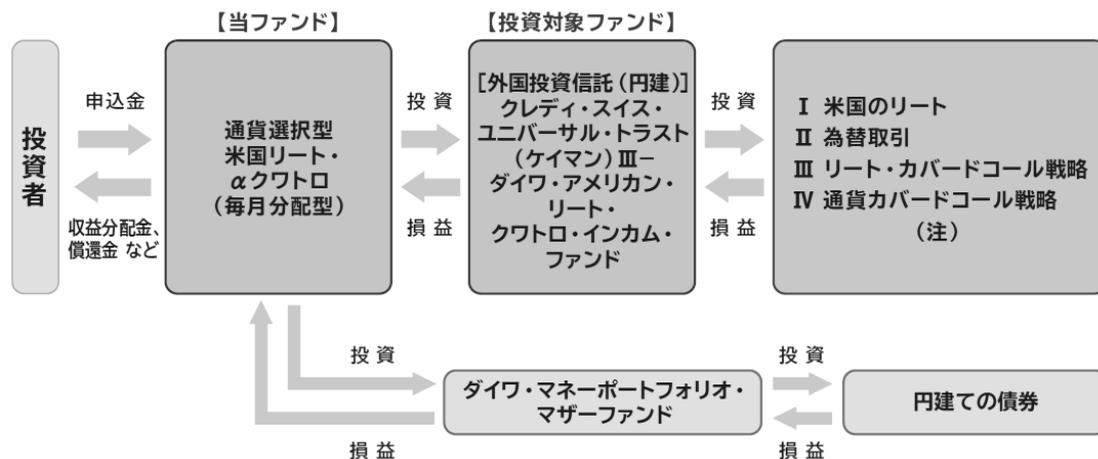
### ファンドの目的・特色

#### ファンドの目的

- 米国のリートに投資するとともに、為替取引ならびにリートおよび通貨のカバードコール戦略を組み合わせることで、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

#### ファンドの特色

- 米国のリートに投資します。
  - ◆米国のリートへの投資にあたっては、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数を対象としたETFを活用します。  
 「ダウ・ジョーンズ米国不動産指数」はS&Pダウ・ジョーンズ・インデックスが算出する、米国株式市場における不動産銘柄で構成される時価総額加重平均型(浮動株調整後)の指数(配当込み)です。  
 米国株式市場全体の約95%を占めるダウ・ジョーンズ米国指数の構成銘柄の中から、不動産の保有・開発業およびリートのサブ・セクターを含む米国の不動産セクターの銘柄で構成されています。
- 米ドル建て資産に対して、原則として、米ドル売り/ブラジル・レアル買いの為替取引を行いません。  
 為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)/コスト(金利差相当分の費用)について
  - ◆ブラジル・レアルの短期金利が、米ドルの短期金利よりも高い場合、「プレミアム(金利差相当分の収益)」が期待できます。
  - ◆ブラジル・レアルの短期金利が、米ドルの短期金利よりも低い場合、「コスト(金利差相当分の費用)」が生じます。
- リートのカバードコール戦略を活用します。
- 通貨のカバードコール戦略を活用します。
  - コール・オプション(買う権利)を売却することで、オプションプレミアムの確保をめざします。  
 「オプションプレミアム」とは、オプションの買い手が売り手に支払う対価をいいます。
  - ◆リート・カバードコール戦略では、対象とする指数またはETFにかかるコール・オプションの売りを行いません。
  - ◆通貨カバードコール戦略では、円に対するブラジル・レアルのコール・オプションの売りを行いません。
- 毎月17日(休業日の場合翌営業日)に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行いません。
- 当ファンドは、以下の2本の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。



(注) 当ファンドが投資対象とする外国投資信託において、米国のリートへの投資、為替取引、リートおよび通貨のカバードコール戦略について、クレディ・スイス・インターナショナルを相手方とする担保付スワップ取引を通じて、その損益を享受します。  
 ※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

## 通貨選択型 米国リート・αクワトロ(毎月分配型)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

## 投資リスク

●当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「リートの価格変動(価格変動リスク・信用リスク)」、「為替変動リスク」、「カバードコール戦略の利用に伴うリスク」、「カントリー・リスク」、「スワップ取引の利用に伴うリスク」、「その他(解約申込みに伴うリスク等)」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※投資対象資産の通貨(米ドル)の為替変動リスクを完全に排除することはできませんので、基準価額は円に対する米ドルの為替変動の影響を受ける場合があります。なお、ブラジル・レアルの金利が米ドルの金利より低いときには、金利差相当分がコストとなります。

※投資対象である外国投資信託において、NDF 取引を用いて為替取引を行なう場合、コストは需給や規制等の影響により、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

## ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限)3.24%(税抜3.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	0.30%	換金に伴い必要となる費用等を賄うため、換金代金から控除され、信託財産に繰入れられる額。 換金申込受付日の翌営業日の基準価額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.215% (税抜 1.125%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
投資対象とする 投資信託証券	年率 0.35%程度	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用	年率 1.565% (税込) 程度	
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場不動産投資信託は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

販売会社:

大和証券

Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号  
加入協会 日本証券業協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人金融先物取引業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会